



学校だより

9 月 号

2026年8月31日

横浜市立中村小学校



HPアドレス

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/nakamura/>

人と人とのつながり

校長 中尾 和世

40 日間の夏休みが終わり、学校に子どもたちが帰ってきました。

久しぶりに会う友達との楽しい会話が、あちらこちらから聞こえてきます。休み時間には、暑さを物ともせず元気に遊ぶ子どもたちの姿があふれています。つくづく、学校には子どもたちの声や姿があつてこそ、命が吹き込まれるのだなあと感じるとともに、こうして無事に学校を再開することができましたことに、中村小学校にかかわるすべての皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。

さて、昨年よりも少し落ち着いていたように思いますが、今年の夏も暑い日が続きました。私が小学生だったころは、日中も最高気温が 30℃ 前後で今と比べれば幾分か過ごしやすく、朝晩は窓を開けていれば涼しい風が入ってきて、扇風機だけで事足りていました。また、町内の広場では、お盆休み以外は老若男女問わず朝六時半からラジオ体操があり、また、大きな櫓を組んで数日間盆踊り大会が行われていたことを懐かしく思います。しかし、あんなににぎやかだったのに、子どもの姿が見られなくなるとともに活気が失われ、私にとっての懐かしい風景はなくなってしまいました。実家の母に聞くと、まちなぎは何もなくなってしまったと、どこか寂しそうに話していました。

「人と人とのつながり」は、一朝一夕には築くことは難しいことは言うまでもありません。はじめは対一の関係であっても、そこから人の輪がつながっていき、コミュニティが作られていきます。今年もお知らせいただいていた各町会のお祭りにご挨拶に伺い、「人と人とのつながり」を中村のまちでたくさん拝見しました。

- ・声を掛け合い、盆踊りを踊ったり太鼓をたたいたりして、まちの皆さんで楽しんでいる姿
- ・縁日の出店の運営を、まちの方と中学生が一緒になって行っている姿
- ・大人と子どもが神輿を囲んで語り合い、祭りを心から楽しんでいる姿
- ・お囃子を代々受け継ぎ、大切にしている姿

など

小学生のうちは地域の行事に出向き、雰囲気味わったり遠目に観察したり、可能なところで大人と一緒に楽しんだりしているのですが、そのうちに様々な役割に関心をもち、かかわる機会がきつとあることでしょう。いつか、中村の子どもたちもコミュニティの一員として地域の担い手となり、自身の夏の思い出を語り継ぎ守れる存在となってくれたらと願っています。そして、「人と人とのつながり」をつくり、中村のまちを大切にできる人となることを期待しています。

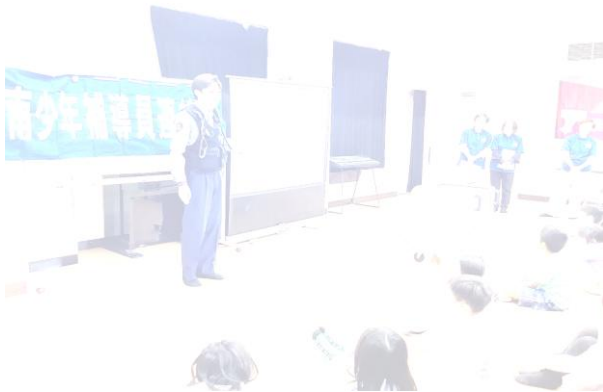
これから学校では、宿泊体験学習や校外学習といった学年の行事や、縦割り班で出かける全校遠足など、行事が目白押しです。人とかかわり合って試行錯誤し、様々な経験をすることで、子どもたちは成長していくことと思います。その中で「人と人とのつながり」のありがたさや大切さを実感できるように取り組んで参りたいと思います。

今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「令和 8 年熊本地震」および「8 月千葉豪雨」でお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

6・7月に南警察署スクールサポーターの小林さんや南少年補導員さんに来ていただき、3、4年生には非行防止教室、5、6年生にはサイバー犯罪防止教室を開催しました。犯罪につながる行動についてやインターネット利用で気をつけること等について話していただきました。自分で判断する力をつけ、みんなが気持ちよく過ごせるようにして行ってほしいです。

非行防止教室（3・4年）



3年生はイラストを見ながらいじめについて考えました。

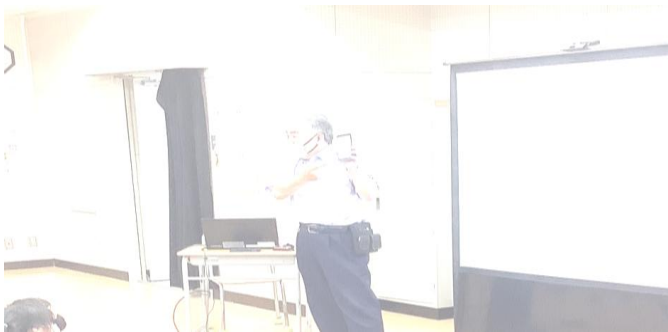
いじめは絶対にしてはいけない、自分たちの言動が犯罪になることもあるということを知りました。自分たちの普段の言動を振り返りながら学びを深め、今後の言動について考えることができました。



4年生はいじめのお話を聞き、いじめをなくするためにはどうすればよいのかを考えました。

また、いじめは学校で許されないだけでなく、犯罪に当たる行為になることもあるということを知りました。子どもたちはスクールサポーターの小林さんの話に真剣に耳を傾け、質問をして学びを深めることができました。

サイバー犯罪防止教室（5・6年）



5年生は、メールやチャットを使ったメッセージの正しいやり取りについて理解を深めました。

メッセージを送る前に、相手に自分の気持ちが伝わる文か考えてから送らないといけないということが分かりました。また、困ったことがあったら、自分でなんとかしようとするのではなく、家の人や先生に相談することが大切だと気付きました。

6年生は、ゲームの正しい使い方について学びました。ゲームを優先するあまり、生活習慣が不規則になってしまったり、活力が起きなくなったりする可能性があることが分かりました。また、オンラインゲームを通じて知らない人と繋がり、実際に会ってしまった事例をもとに、その危険性について子どもたちと話し合いました。



幼保小交流（１年）

しろばら保育園の年長さんと６月１７日に１回目、７月１５日に２回目の交流を行いました。１回目は体育館で中村小学校の校歌のプレゼントをしたり園児さんと一緒にじゃんけん列車をしたりして楽しみました。２回目には、小グループに分かれて自己紹介をした後、シャボン玉をしました。１年生は年上として、優しく声をかけることができ、みんなで楽しく過ごしました。



横浜こども会議

【令和８年度テーマ】

いじめをしないさせない見逃さないに

～つながる、広げる、いじめの未然防止の輪～

【南区テーマ】「いじめをなくために学校としてできること」

７月に、平楽中ブロックの子ども会議に児童委員の４名が出席しました。夏休み明けの８月２７日（木）には、南区の子ども会議に中村小学校代表として児童委員の２名が出席し、話し合いをしてきました。その中で、「いじめの傍観者にならない」「イライラした時には６秒間待つのがよい方法」などが話題にあがりました。横浜子ども会議で話し合ったことをもとに、今後中村小学校で、具体的な取り組みへとつなげていきます。



学校保健委員会

７月２日に体育館で学校保健委員会Ⅰを行いました。

今年度の保健テーマは「歯と口の健康」です。歯と口の健康は、毎日の食事や生活を支える大切なものです。保健委員会の活動のなかで、歯と口の健康を守るためには①よく噛んで食べること ②生活習慣を整えること ③おやつの食べ方を工夫すること が大切であると分かりました。

学校保健委員会Ⅰでは、保健委員の児童がこの３つのチームに分かれて、調べたことを全校児童に向けて発表することができました。全校で歯と口の健康について見つめ直す良い機会となりました。

